

平成27年度第1回「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」・  
「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：平成27年5月21日（木）午後6時30分～8時20分  
会場：区役所131会議室

次 第

1 開会

2 区長挨拶

3 議題

議 題	資料
(1) 平成27年度子ども・子育て会議について ・委員の変更について ・年間スケジュール（予定）について	資料1 資料2
(2) 子ども・子育て会議委員の任期満了に伴う改選について	資料3・4
(3) 家庭的保育事業給食提供について	資料5
(4) 墨田区次世代育成支援後期行動計画の実績報告について	資料6・7
(5) 教育・保育の質の評価方法について	資料8
(6) その他 ・シンポジウム「聞いて！話して！子ども・子育て支援新制度スタート！」の実 施報告について ・「児童館・学童クラブ等職員 合同研究会」の実施報告について	資料9

4 次回親会議の開催予定

日 時：平成27年7月14日（火）午後6時30分～8時30分

会 場：131 会議室

主な議題：各ワーキンググループの進め方について

5 閉会

配布資料

資料1 平成27年度「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」及び「墨田区子ども・子育て会議」委員名簿

資料2 平成27年度「墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会」及び「墨田区子ども・子育て会議」スケジュール（案）

資料3 墨田区子ども・子育て会議委員の任期満了に伴う改選について

資料4 区民委員募集チラシ

- 資料5 家庭的保育事業給食提供について
- 資料6 墨田区次世代育成支援後期行動計画（平成22年度～平成26年度）平成26年度事業実績
- 資料7 墨田区次世代育成支援後期行動計画（平成26年度事業実績）【概要版】
- 資料8 教育・保育の質の評価方法について
- 資料9 シンポジウム「聞いて！話して！子ども・子育て支援新制度スタート！」～すみだの参加型子育てシンポジウムはじまるよ～結果報告
- 参考資料 すみだ子育て・子育て応援宣言 墨田区次世代育成支援後期行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画
- 参考資料 第10回食育推進全国大会 in すみだ2015の案内
- 参考資料 すみだガバナンスリーダー養成講座の案内

## 出席者(敬称略)

### 委員

- 大豆生田 啓友（玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授）
- 野原 健治（興望館館長）
- 長田 朋久（横川さくら保育園長）
- 西島 由美（にしじま小児科院長）
- 杉浦 浄澄（江東学園幼稚園副園長）
- 服部 榮（社会福祉法人 雲柱社理事長）
- 伊丹 桂（文花子育てひろば施設長）
- 野口 悦子（主任児童委員）
- 松芳 保（小学校PTA協議会会長）
- 内田 淳（青少年委員協議会委員）
- 森 八一（青少年育成委員会連絡協議会副会長）
- 小菅 崇行（小菅株式会社代表取締役会長）
- 佐藤 まり子（ムーミン保育室施設長）
- 賀川 祐二（NPO法人 病児保育を作る会代表理事）
- 貞松 成（株式会社 global bridge 代表取締役）
- 佐藤 摩耶子（公募）
- 荘司 美幸（公募）
- 多胡 晴子（公募）
- 徳野 奈穂子（公募）
- 福田 三加代（公募）
- 近藤 ゆき江（八広幼稚園長）
- 田谷 至克（寺島中学校長）
- 青塚 史子（八広保育園長）

### <欠席委員>

- 高嶋 景子（田園調布学園大学子ども未来学部子ども未来学科准教授）

飯田 昌弘（中学校 PTA 連合会会長）  
金子 里美（NTT 労働組合東京総支部執行委員）  
本多 美絵子（両国幼稚園副園長）  
保坂 登（緑小学校長）

< 傍聴 >

なし

課長出席者

関口 芳正（子ども・子育て支援担当部長） 大滝 信一（福祉保健部長） 福谷 光広（生活衛生課長【保健衛生担当部長代理】） 石井 秀和（教育委員会事務局次長） 小倉 孝弘（子育て支援課長） 鈴木 一郎（子ども課長） 村田 里美（子育て支援総合センター館長） 杉崎 和洋（子ども・子育て支援担当副参事）

事務局出席者（検討チーム含む）

田村・浦辺・酒井・戸村・遠藤・松本・長山・坂田・高橋・三浦・柿畑・岩崎

事務局（株）地域総合計画研究所

大鹿、佐々木

## 1 開会

会長	これより開催する。
事務局	委員の出席状況について、現時点で 28 名の内、過半数以上が出席しており、定足数を満たしているため、会議は有効に成立している。傍聴者の出席、記録用の写真撮影と録音を了承願いたい。 また、前回の平成 26 年度第 10 回目の会議記録を委員に配布し、特段、修正等の意見がなかったため、議事録として確定している。

## 2 区長挨拶

区長	町の中で母親たちが一生懸命に子育てをしている姿を目にして、まちに活力が出てきている中で、子育て環境を整備して、働く世代と子育て世代が幸せに暮らせるまち、このまちで子育てして良かったと思えるまちにしていきたいと感じた。また、子どもたちが成長する中で、墨田区に住み続けて夢や希望が叶うまちにしたいと考えている。 昨年度に計画を策定いただいたことに感謝しつつ、今年度からの計画についても尽力いただくようお願いしたい。
----	--

## 3 議題

### (1)平成27年度子ども・子育て会議について

事務局	(資料 1、資料 2 について説明、新規委員から挨拶)
委員	乳幼児ワーキンググループ(以下、WG)専門委員会のプロジェクトとは何か。
委員	質の向上に関する「子どもの協同的な学びプロジェクト」のことで、公立・私立の幼稚園と保育園の 4 園を発表園として決め、アドバイザーから助言をもらいながら公開保育と発表会を行うものである。
事務局	計画の 203 ページに、提言としてプロジェクトの記載がある。

### (2)子ども・子育て会議委員の任期満了に伴う改選について

事務局	(資料 3、資料 4 について説明)
会長	公募委員の募集に際し、見える形で募集を行っているのか。
事務局	区報と区のホームページに掲載し、区内の幼稚園や保育園の掲示板に掲示している。

### (3)家庭的保育事業給食提供について

事務局	(資料 5 について説明)
委員	配達時間が早めだが、園児の散歩も早めに行うのか。また、連携園による給食のメニューは、その園と同じメニューとなるのか。
事務局	散歩は早めに行い、メニューも基本的に一緒となる。
委員	麺類やスープ等の温めが必要なものはどうなるのか。また、自園調理の場合、メニューはどうなっているのか。
事務局	連携園で保温タイプのジャーを用意しており、みそ汁やスープ等はそれに入れる。麺類やパン類はビニール袋等に入れて分けて運ぶようにしている。

	自園調理について、区立保育園向けに共通の献立を作成しており、それを参考にしてもらっている。今年度も月々の献立を自園調理側へ配付している。
委員	自園調理の場合、保育ママは調理できないために誰かを雇うのか。また、配達員の費用は定まっているのか、それとも、保育ママの裁量に任せられているのか。
事務局	調理員を必ず雇って調理をすることになっている。ただし、調理員と補助者を兼ねることができる。また、配達員の賃金は、最低賃金を下回らないように区から通達しているが、親族が行っている場合もあり、最終的には保育ママの裁量に任せている。
委員	区から雇うための補助は出ているのか。また、メニューのチェックは行われるのか。
事務局	国の公定価格に給食費として調理員や配達員、食材等の経費が加算されている。また、メニューは抜き打ちで行き、連携園から配達員によって渡される場面と、自園調理の調理場面、給食提供場面をチェックしている。今まで年に2回定期的に巡回していたが、今年度はさらに2回抜き打ちで行う予定である。その他にも、相談や代替保育などで行く場合もある。
委員	代替保育とは何か。
事務局	家庭的保育者が急な休みとなった場合に、他の保育士が代わりに保育を行う制度である。

#### (4) 墨田区次世代育成支援後期行動計画の実績報告について

事務局	(資料6、資料7について説明)
委員	乳児家庭全戸訪問事業について、100%に達していないということだが、実際には何%か。また、なぜ訪問できなかったのか。
事務局	昨年度は現在精査中だが、平成25年度は約85%であった。理由は、事前に日程調整した上で伺っても不在だったり、引っ越ししたりと、伺ってもタイミングが合わないためである。また、本人からの申し込みの上で伺うため、案内しても希望しない人がいる。
委員	里帰りしている人には訪問できない。3~4カ月検診の受診率は90%以上だが、BCG接種がなくなったため、3~4カ月検診の受診率が落ちた場合、検診に来なかった人を追いかける必要はあるだろう。
委員	行けなかった人や、来られなかった人には、後のフォローを手厚くしてほしい。
委員	訪問率が85%だったとして、この事業の目的はどれくらい達成されているのか。
事務局	日頃から保健センターと子育て支援総合センターは連携して虐待防止等に努めており、気になるケースは訪問者が記録を作成し、情報を共有することで対応している。保健センターでは今後、訪問申し込みがない場合でも訪問する予定で、100%を目指すとしている。
委員	幼稚園と保育園の総合施設について、区の方針があれば教えてほしい。
事務局	区立保育園は順次、認定こども園化を進めることを検討している。公立幼稚園は難しい状況であるが、私立保育園で大きな園庭のある園には区も協力しながら移行を支援する。
委員	区立学校の適正配置について、現状において動きはないか。
事務局	適正配置については、年少人口の増加により停止している。学校選択制については、教育委員会で議論を進めている。

委員	区立保育園を認定こども園化するメリットは何か。園舎の改築等により定員を増やすのか。また、子育てアプリの地図を改善してほしい。
事務局	ニーズ調査において、認定こども園に 12%の希望があった。認定こども園化により幼稚園と保育園の需要が満たされ、就労の有無にかかわらず子どもを受け入れられ、制度的に教育が保障される。また、最近、改築した園については定員増とし、今後も改築に際しては定員を増やしていく。3~5歳の枠を拡大した上で1号認定枠に変え、全体の定員を増やす方向性で進めていきたい。子育てアプリについては改善に努めたい。

#### (5) 教育・保育の質の評価方法について

事務局 (地域研)	(資料8について説明)
委員	インタビューの内容はどのようなものか。
事務局	方向性としてインタビューを行うとしているのみで、対象等は今後を検討する。
会長	これはいつまで決めて、いつに行うのか。それとも、現時点での方向性を示したものか。
事務局	このような方向性を考えており、今年度中にインタビューは実施したい。
委員	中学生ではなく、18歳や20歳の方にインタビューした方が良いのではないか。
委員	なるべく母親たちの本音が聞き出せるような設問や、リラックスした雰囲気でのインタビューを行い、色々な意見を聞いてほしい。
会長	これは教育・保育の質の評価なのか。
委員	10年前の計画において、18歳未満人口を目標に設けたが、5年後にその目標は達成したため、5年前にこのような形の指標を作成した経緯があった。
事務局	今日は意見を伺う形とする。今後、委員で検討する場を設け、具体的な内容を詰めていきたいが、いかがか。
会長	そのような方向で進めたい。

#### (6) その他

事務局	(資料9について説明)
委員	(児童館・学童クラブ等職員合同研究会について説明)
会長	質問等はあるか。(特に意見なし)

#### 4 次回開催予定

事務局	(食育推進全国大会とガバナンスリーダー養成講座の案内) 次回は7月14日(火)午後6時30分より、区役所131会議室にて行う。主な議題は各ワーキンググループの進め方について予定している。前半の1時間でWG、後半の1時間で親会議を考えている。
会長	以上で、閉会とする。

以上